

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003026	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y_imani▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階603号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後及びメールで随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：レジュメの内容の把握及び報告資料の作成（2h） 復習：講義内でのフィードバックの反映（2h）		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	講義内で資料を配布する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で行う。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面）
第2回	研究テーマに関する討議（対面）
第3回	グループごとの活動（対面）
第4回	図書館ガイダンス
第5回	グループごとの活動（対面）
第6回	グループごとの研究の中間報告（対面）
第7回	グループごとの活動（対面）
第8回	グループごとの活動（対面）
第9回	グループごとの研究の中間報告（対面）
第10回	研究テーマに関する討議（対面）
第11回	グループごとの活動（対面）
第12回	グループごとの活動（対面）
第13回	グループごとの活動（対面）
第14回	グループごとの研究の最終報告（対面）
第15回	グループごとの研究の最終報告（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003027	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日5限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 テキストの中で読んでくべき個所を示すので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。（2h） 復習 テキストとレジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。（2h）		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	村木正昭監修、石井信明・原田博幸・峯尾啓司・吉田透・吉竹弘行・布施憲夫・増井伸博(2016)『工業管理術』実教出版 (isbn: 9784407339321)。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式とおインライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション（対面）
第2回	企業の仕組み（対面）
第3回	企業の仕組み（つづき）（対面）
第4回	生産管理（対面）
第5回	生産管理（つづき）（対面）
第6回	科学的管理法（対面）
第7回	科学的管理法（つづき）（対面）
第8回	科学的管理法（つづき）（対面）
第9回	品質管理（対面）
第10回	品質管理（つづき）（対面）
第11回	図書館ガイダンス（対面）
第12回	キャンパスガイド（対面）
第13回	まとめ（対面）
第14回	予備日（対面）
第15回	試験（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003028	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	大角 道子 / Ogaku Michiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ohgakuの後にドメイン名@nagasaki-u.ac.jpをつけてください.		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階512研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	グループ活動への貢献50%, 個人レポート50%.		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習(2h) 次回のセミナーの議題に関する情報収集, 復習(2h) 今回のセミナーの議題に関する情報収集		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	指定なし。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面形式
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション グループ分け 役割分担の決定（対面）
第2回	グループ研究テーマに関する討議(1)（対面）
第3回	グループ研究テーマに関する討議(2)（対面）
第4回	グループ研究テーマに関する討議(3)（対面）
第5回	グループ研究テーマに関する討議(4)（対面）
第6回	グループ研究テーマに関する討議(5)（対面）
第7回	グループ研究テーマに関する討議(6)（対面）
第8回	グループ研究テーマに関する資料収集(1)（対面）
第9回	グループ研究テーマに関する資料収集(2)（対面）
第10回	グループ研究テーマに関する資料収集(3)（対面）
第11回	グループ研究テーマに関する資料収集(4)（対面）
第12回	グループ研究テーマに関する資料収集(5)（対面）
第13回	グループ研究テーマの調査結果のまとめ（対面）
第14回	グループ研究テーマの調査結果発表の準備（対面）
第15回	グループ研究の最終報告会（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003029	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	小野 哲 / Ono Tetu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onotetsu▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階532番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前か後、もしくはメールで適宜受付け。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標としています。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とします。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしています。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取組み方やディスカッション（初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など）、プレゼンテーション（わかりやすい資料、話の構成、説得力など）、レポート（構成、文章表現など）によりつぎの内容で評価します。プレゼンテーション課題（30点）＋授業への取組み（20点）＋レポート課題（50点）＝100点満点のうち60点以上を「合」とします。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：配布されたスライドや資料などを事前に読んでおくこと。（2h） 復習：スライドや資料などを再読し、理解を確実に高めること。（2h）		
キーワード/Keywords	主体的・組織的学習		
教科書・教材・参考書/Materials	教員の作成したスライドや資料、「長大生のためのラーニングディップス」を用いながら授業を行うので、特定のテキストなどは使用しません。参考書等は、プレゼンテーションやディスカッションなどの内容に応じて適宜指示します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は1～8回までは対面、9～14回まではリアルタイム・オンライン、15回は対面という内容のハイブリッド型で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	大学での今後のひな形となる大切な授業です。この授業を通じて主体的・能動的な学習態度を身に付けましょう。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/11)	オリエンテーション（対面） 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回 (4/18)	第4回～6回プレゼンテーションとディスカッション練習の説明（対面）
第3回 (4/25)	図書館ガイダンス（対面）
第4回 (5/2)	プレゼンテーションとディスカッション練習（対面）
第5回 (5/9)	プレゼンテーションとディスカッション練習（対面）
第6回 (5/16)	プレゼンテーションとディスカッション練習（対面）
第7回 (5/23)	レポートの書き方の説明（対面）
第8回 (5/30)	グループによるレポートの説明とグループ分け（対面）
第9回 (6/6)	グループによるレポートのテーマ設定（リアルタイムオンライン）
第10回 (6/13)	グループによるレポートのテーマ設定（リアルタイムオンライン）
第11回 (6/20)	グループによるレポートのテーマ設定（リアルタイムオンライン）
第12回 (6/27)	グループによるレポートの作成（リアルタイムオンライン）
第13回 (7/4)	グループによるレポートの作成（リアルタイムオンライン）
第14回 (7/11)	グループによるレポートの作成（リアルタイムオンライン）
第15回 (7/18)	グループによるレポートのプレゼンテーションとレポートの提出（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003030	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahiro.kato▲nagasaki-u.ac.jp（メール送信時は▲を@に変更してください。）		
担当教員研究室/Office	経済学部キャンパス（片淵キャンパス）の本館（学務係が1階にある棟）6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ（オンラインでも可能です）。ただし、メールでのやりとり以外については、事前に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。また、授業で取り上げられたテーマについて自分なりに熟慮し、同じグループのメンバーと議論する(2h-4h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	授業で参照する資料や文献は、授業中に指示する。 適宜、必要な資料を配付する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則として対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	講義やグループワークを通して、大学生活で必要となる文献や法令の読み方、論文・レポートの書き方、プレゼンの仕方などについて学ぶことを目的とする。 講義やグループワークでの議論に主体的に参加することを期待する。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	加藤 隆宏 / 税務行政 / 税務、租税手続き、租税法の企画・立案（税制改正）、国際課税などに携わった経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面） 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)（対面）
第3回	研究テーマに関する討議(2)（対面）
第4回	図書館ガイダンス（対面）
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定（対面）
第6回	論文・レポートのまとめ方について（対面）
第7回	プレゼンの仕方について（対面）
第8回	グループごとの活動(1)（対面）
第9回	グループごとの活動(2)（対面）
第10回	グループごとの研究の中間報告（対面）
第11回	法令の読み方について（対面）
第12回	グループごとの活動(3)（対面）
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて（対面）
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)（対面）
第15回	グループごとの研究の最終報告（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003031	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	加藤 隆宏 / KATO Takahiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahiro.kato▲nagasaki-u.ac.jp（メール送信時は▲を@に変更してください。）		
担当教員研究室/Office	経済学部キャンパス（片淵キャンパス）の本館（学務係が1階にある棟）6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ（オンラインでも可能です）。ただし、メールでのやりとり以外については、事前に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。また、授業で取り上げられたテーマについて自分なりに熟慮し、同じグループのメンバーと議論する(2h-4h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	授業で参照する資料や文献は、授業中に指示する。 適宜、必要な資料を配付する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則として対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	講義やグループワークを通して、大学生活で必要となる文献や法令の読み方、論文・レポートの書き方、プレゼンの仕方などについて学ぶことを目的とする。 講義やグループワークでの議論に主体的に参加することを期待する。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	加藤 隆宏 / 税務行政 / 税務、租税手続き、租税法の企画・立案（税制改正）、国際課税などに携わった経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面） 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)（対面）
第3回	研究テーマに関する討議(2)（対面）
第4回	図書館ガイダンス（対面）
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定（対面）
第6回	論文・レポートの書き方について（対面）
第7回	プレゼンの仕方について（対面）
第8回	グループごとの活動(1)（対面）
第9回	グループごとの活動(2)（対面）
第10回	グループごとの研究の中間報告（対面）
第11回	法令の読み方について（対面）
第12回	グループごとの活動(3)（対面）
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて（対面）
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)（対面）
第15回	グループごとの研究の最終報告（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003032	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	工藤 健 / Kudo Takeshi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkudo▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階521研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	対面またはオンライン(WebEx)で相談を受け付ける *時間割が確定してから改めて詳細を連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 具体的に次の項目について評価を行う。 ・行動履歴報告: 150点(10点×15回) ・セミナーへの取り組み方: 300点(20点×15回) ・プレゼンテーション: 300点(報告資料と発表の貢献状況) ・レポートの内容: 250点 の合計1000点のうち, 600点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 1週間の行動履歴と振り返りの記述, 事前配布資料に基づく調査(2h) 復習: 授業中に出された課題への取組, 個別・グループによる打ち合わせや調査(2h)		

キーワード/Keywords	アカデミック・スキル, アカデミック・ライティング
教科書・教材・参考書/Materials	佐藤 望ほか(2020)『アカデミック・スキルズ(第3版)——大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則として対面形式で実施する
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(対面) 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	協働する意義, 聴き方(対面)
第3回	話し方(伝達), 書き方(可視化)(対面)
第4回	図書館ガイダンス(情報の集め方)(対面)
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定(対面)
第6回	考えの広げ方, 共有の仕方(対面)
第7回	グループごとの活動(1)(対面)
第8回	グループごとの活動(2)(対面)
第9回	グループごとの研究の中間報告(考えの伝え方)(対面)
第10回	レポートの書き方(対面)
第11回	グループごとの活動(3)(対面)
第12回	グループごとの活動(4)(対面)
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて(対面)
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)(対面)
第15回	グループごとの研究の最終報告(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003033	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	桑波田 浩之 / KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	桑波田 浩之 / KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	桑波田 浩之 / KUWAHATA Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwahata[at]nagasaki-u.ac.jp [at]を@にかえて下さい		
担当教員研究室/Office	経済学部本館608研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜1・2校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前：授業内で時間が足りない場合、研究テーマの選定、文献資料収集、プレゼンテーションの準備、レポートの作成等は授業時間外で行います。(0.5h) 事後：主体的・能動的学習は授業時間だけでは完結しません。グループや個人の探求・考察の結果を記録し、授業の節目節目に振り返ってください。(0.5h)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。以下の文献は、授業の参考書として有益です。 井下千以子（2019）「思考を鍛えるレポート論文作成法 第3版」、慶應義塾大学出版会 河野哲也（2018）「レポート・論文の書き方入門 第4版」、慶應義塾大学出版会 佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦（2020）「アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 第3版」、慶應義塾大学出版会 佐渡嶋紗織、ディエゴ・オリベyra、嶋田大海、ニコラス・デルグレゴ（2020）「レポート・論文をさらによくする「引用」ガイド」、大修館書店
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面で実施します。変更がある場合は、LACSにてお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面） 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	大学生活の注意点（対面）
第3回	図書館ガイダンス（対面）
第4回	グループワーク(1)：ブレインストーミング・KJ法（対面）
第5回	グループワーク(2)：グループ発表（対面）
第6回	レポートの作成(1)：研究テーマの選定（対面）
第7回	レポートの作成(2)：参考文献（対面）
第8回	レポートの作成(3)：数式の作成（対面）
第9回	レポートの作成(4)：表の作成（対面）
第10回	レポートの作成(5)：図の作成（対面）
第11回	レポートの作成(6)：プレゼンテーション（対面）
第12回	テーマの分析(1)：Excelの基本操作（対面）
第13回	テーマの分析(2)：Excelによる計算（対面）
第14回	テーマの分析(3)：グラフ（対面）
第15回	テーマの分析(4)：データベース（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003034	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shishi ▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階 206号		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後1時間。その他時間も受け付けますが、その際は事前にメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：次週までの課題を提示しますので、与えられた課題に対してまとめを行っておくこと。(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	参考図書については第1回目の授業で提示します。なお必要に応じて資料を配布します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面
学生へのメッセージ/Message for students	大学での学びの基礎を担う授業になります。普段から時事問題などに興味を持っておいってください。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	穴倉学/総務省での勤務経験/実務と理論の両面から課題の解決方法を検討する
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面）
第2回	研究テーマに関する討議(1)（対面）
第3回	研究テーマに関する討議(2)（対面）
第4回	図書館ガイダンス（対面）
第5回	研究テーマ決定（対面）
第6回	レポートのまとめ方について（対面）
第7回	プレゼンテーションの仕方について（対面）
第8回	グループディスカッション(1)（対面）
第9回	グループディスカッション(2)（対面）
第10回	研究の中間報告（対面）
第11回	データ収集（対面）
第12回	データ分析（対面）
第13回	結果まとめ(1)（対面）
第14回	結果まとめ(2)（対面）
第15回	研究の最終報告（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003035	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	島田 章 / Shimada Akira		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shimada▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館501		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後の10分間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。 資料の収集、発表、レポートの作成の方法などについて学ぶ。 授業は可能な限り対面で実施するが、大学の指示などにより対面が不可能な場合は、オンデマンドやリアルタイムなどの方法も用いる。これらの方法で実施する場合は、改めて連絡する。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。以上、学部共通記載事項。 D-1：基礎的教養と現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけ使うことができるようになる。 D-2：自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	資料収集、報告資料作成、口頭報告、質疑応答が50%、筆記レポートが50%、全体の60%を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：自分の研究テーマに関連する資料の収集と整理（2h） 復習：討論等によって生じた問題の克服と研究の修正（2h）		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	日本経済新聞
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は可能な限り対面で実施するが、大学の指示などにより対面が不可能な場合は、オンデマンドやリアルタイムなどの方法も用いる。これらの方法で実施する場合は、改めて連絡する。
学生へのメッセージ/Message for students	私に用事があるメールを送る場合は件名に「2024年度初年次セミナーの誰々（名前、学生番号）」で、用件は何々（例えば、質問）」などを書いてください。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面）
第2回	研究テーマの探索と研究グループの編成（対面）
第3回	研究テーマごとの研究テーマの決定、研究計画の立案（対面）
第4回	スライドや筆記レポート作成についての学習（図書館ガイダンスなどへの出席を含むことがある）（対面）
第5回	研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成（1）（対面）
第6回	研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成（2）（対面）
第7回	研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成（3）（対面）
第8回	中間報告会（スライドをつかったプレゼンテーション）（対面）
第9回	研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正（1）（対面）
第10回	研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正（2）（対面）
第11回	研究グループごとの研究、スライドや筆記レポートの作成、コメントに基づいた修正（3）（対面）
第12回	最終報告会（スライドをつかったプレゼンテーション）の準備（対面）
第13回	最終報告会（スライドをつかったプレゼンテーション）（対面）
第14回	筆記レポートの提出の準備（対面）
第15回	筆記レポートの提出（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003036	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(経済) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takafumi.suzuki ▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階624研究室		
担当教員TEL/Tel	連絡はEメールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に遠慮なく質問して頂いて大丈夫です。また、Eメールでの問合せは随時受け付けますし、Eメールで事前に日程調整をして頂ければ別途対面やZoomでの対応も致します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	事前: 研究テーマに関する調査・資料収集及び分析(2h) 事後: ディスカッションを踏まえて研究内容を見直し、修正すべき点や分析を深めるべき点等を特定(2h)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	長大生のためのラーニングティップス（ https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ ） また、必要に応じ、資料をLACSに掲載します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則として対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	大学での今後の演習のひな型となる授業です。高校までの学習態度が受動的であったと思う人は、この授業を通じて、主体的・能動的な学習態度を身に付けるようにしましょう。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 崇文/財務省において国際経済に係る諸機関（WTO、WCO、OECD(DAC)等）及び諸問題（関税及び非関税障壁、貿易救済措置、通関システム、関税技術協力等）を担当、ベルギー（WCO）及び在スイス日本大使館での在外勤務経験あり。/前記の実務経験を踏まえた助言・指導を行います。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面）
第2回	図書館ガイダンス（他日となる可能性あり。）（対面）
第3回	各自の関心事項（研究テーマ案）の発表（対面）
第4回	グループ分け決定・研究テーマ決定（対面）
第5回	グループごとの活動（対面）
第6回	グループごとの活動（対面）
第7回	グループごとの活動（対面）
第8回	グループごとの活動（対面）
第9回	グループごとの活動（対面）
第10回	グループごとの研究の中間報告（対面）
第11回	グループごとの活動（対面）
第12回	グループごとの活動（対面）
第13回	グループごとの活動（対面）
第14回	グループごとの研究のまとめ、学修ポートフォリオについて（対面）
第15回	グループごとの研究の最終報告（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003037	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(経済) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takafumi.suzuki ▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階624研究室		
担当教員TEL/Tel	連絡はEメールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に遠慮なく質問して頂いて大丈夫です。また、Eメールでの問合せは随時受け付けますし、Eメールで事前に日程調整をして頂ければ別途対面やZoomでの対応も致します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	事前: 研究テーマに関する調査・資料収集及び分析(2h) 事後: ディスカッションを踏まえて研究内容を見直し、修正すべき点や分析を深めるべき点等を特定(2h)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	長大生のためのラーニングティップス（ https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ ） また、必要に応じ、資料をLACSに掲載します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則として対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	大学での今後の演習のひな型となる授業です。高校までの学習態度が受動的であったと思う人は、この授業を通じて、主体的・能動的な学習態度を身に付けるようにしましょう。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 崇文/財務省において国際経済に係る諸機関（WTO、WCO、OECD(DAC)等）及び諸問題（関税及び非関税障壁、貿易救済措置、通関システム、関税技術協力等）を担当、ベルギー（WCO）及び在スイス日本大使館での在外勤務経験あり。/前記の実務経験を踏まえた助言・指導を行います。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面）
第2回	図書館ガイダンス（他日となる可能性あり。）（対面）
第3回	各自の関心事項（研究テーマ案）の発表（対面）
第4回	グループ分け決定・研究テーマ決定（対面）
第5回	グループごとの活動（対面）
第6回	グループごとの活動（対面）
第7回	グループごとの活動（対面）
第8回	グループごとの活動（対面）
第9回	グループごとの活動（対面）
第10回	グループごとの研究の中間報告（対面）
第11回	グループごとの活動（対面）
第12回	グループごとの活動（対面）
第13回	グループごとの活動（対面）
第14回	グループごとの研究のまとめ、学修ポートフォリオについて（対面）
第15回	グループごとの研究の最終報告（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003038	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高井 計吾		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	高井 計吾		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	高井 計吾		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館525		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後、または事前にアポイントメントを取った時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：事前に課題が与えられている場合は、相応の準備をしておくこと。(2h) 復習：講義資料を再読し、理解を深めておくこと。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	特になし		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則として対面実施
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面） 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)（対面）
第3回	研究テーマに関する討議(2)（対面）
第4回	図書館ガイダンス（対面）
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定（対面）
第6回	レポートのまとめ方について（対面）
第7回	実地研修(1)（対面）
第8回	グループごとの活動(1)（対面）
第9回	グループごとの活動(2)（対面）
第10回	グループごとの研究の中間報告（対面）
第11回	実地研修(2)（対面）
第12回	グループごとの活動(3)（対面）
第13回	グループごとの研究のまとめ(1)、学修ポートフォリオについて（対面）
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)（対面）
第15回	グループごとの研究の最終報告（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003039	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(経済) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林川 美由樹 / Hayashikawa Miyuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	片淵本館610		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	基本的にはEメールで質問を受けます。必要に応じてEメールでアボを取ってから対面で質問を受けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 本クラスでは、企業活動の1つである財務報告を題材として、その役割、原稿の問題、解決のために必要なことの検討など多面的に考察する。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(わかりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文章表現など)により総合的に評価し、最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。 本クラスでは具体的には、グループプレゼンテーション2回(15点×2回)+期末課題(60%)+ディスカッションへの主体的取り組み(10%)を目安に評価する。期末課題提出は単位認定に必ず必要である。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	グループ発表の時に限らず、毎回扱う題材の予習を行って出席し、理解を確実にするために授業後に振り返りを行い期末課題提出に備えること。(2h)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	授業初回に指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリット型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面）
第2回	大学の学びについて、グループ分け、引用マナー（対面）
第3回	研究テーマと研究デザイン、財務報告の役割と現状問題ならびに解決へ向けて（対面）
第4回	情報収集ガイダンス（対面）
第5回	グループ発表とディスカッション（１）（対面）
第6回	グループ発表とディスカッション（２）（対面）
第7回	グループ発表とディスカッション（３）（対面）
第8回	グループ発表とディスカッション（４）（対面）
第9回	グループ発表とディスカッション（５）（対面）
第10回	グループ発表とディスカッション（６）（対面）
第11回	グループ発表とディスカッション（７）（対面）
第12回	グループ発表とディスカッション（８）（対面）
第13回	グループ発表とディスカッション（９）（対面）
第14回	グループ発表とディスカッション（１０）（対面）
第15回	振り返りと総括（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003040	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeta373mori▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階625番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日12:00~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前】 個別報告、グループディスカッションなどの準備をおこなう（2h） 【事後】 内容について振り返りをおこなう（2h）		
キーワード/Keywords	大学での学び、カリキュラムと履修、資料収集、調査、グループワーク、プレゼンテーション、レポート・論文		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜指示をする。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面形式。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学経済学部で学ぶことの意義を発見してください！！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面） 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	研究テーマに関する討議(1)（対面）
第3回	研究テーマに関する討議(2)（対面）
第4回	図書館ガイダンス（対面）
第5回	研究テーマ決定・グループ分け決定（対面）
第6回	レポートのまとめ方について（対面）
第7回	実地研修(1)（対面）
第8回	グループごとの活動(1)（対面）
第9回	グループごとの活動(2)（対面）
第10回	グループごとの研究の中間報告（対面）
第11回	実地研修(2)（対面）
第12回	グループごとの活動(3)（対面）
第13回	グループごとの研究のまとめ、学修ポートフォリオについて（対面）
第14回	グループごとの研究のまとめ(2)（対面）
第15回	グループごとの研究の最終報告（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003041	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujitatf▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階606研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	【事前】指定された文献を読み込むことやグループワーク、研究発表に向けた準備（3h） 【事後】セミナーで考えたことの復習（1h）		
キーワード/Keywords	研究、討論、発表		
教科書・教材・参考書/Materials	開講時に指定します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面） 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	文献の読み方(1)（対面）
第3回	文献の読み方(2)（対面）
第4回	研究テーマ決定・グループ分け決定（対面）
第5回	グループごとの活動(1)：問いを考える（対面）
第6回	図書館ガイダンス（対面）
第7回	グループごとの活動(2)：先行研究を確認する（対面）
第8回	グループごとの活動(3)：仮説を考える（対面）
第9回	グループごとの活動(4)：検証方法を考える（対面）
第10回	グループごとの研究の中間報告（対面）
第11回	グループごとの活動(5)：問い・仮説・検証方法を再検討する（対面）
第12回	グループごとの活動(6)：問い・仮説・検証方法を再検討する（対面）
第13回	文章の書き方(1)、グループごとの活動(7)（対面）
第14回	文章の書き方(2)、グループごとの活動(8)（対面）
第15回	グループごとの研究の最終報告（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003042	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yoshizawa▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 510号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後30分程度		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】報告者になっていない場合でも、テキストの指示された部分は演習前に必ず読んでおくこと。また、報告者に質問する内容を事前に考えておくこと。（1h） 【復習】テキストや報告者の作成したレジュメを見ながら、演習内容を確認しておくこと。わからない点はそのままにせず、次の演習時に質問すること。（1h）		
キーワード/Keywords	大学での学習方法、論理学。		
教科書・教材・参考書/Materials	・戸田山 和久（2012）『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK 出版 ・戸田山 和久（2000）『論理学をつくる』名古屋大学出版会		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則、対面で行うことを予定しているが、状況によって変更することもある。その場合はEメールまたはLACSで通知する。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面） 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	図書館ガイダンス（対面）
第3回	E-メールの書き方（対面）
第4回	レポートの書き方についての輪読順序決定（対面）
第5回	輪読発表(1)（対面）
第6回	輪読発表(2)（対面）
第7回	輪読発表(3)（対面）
第8回	輪読発表(4)（対面）
第9回	論理学演習について（対面）
第10回	論理学演習(1)（対面）
第11回	論理学演習(2)（対面）
第12回	論理学演習(3)（対面）
第13回	論理学演習(4)（対面）
第14回	論理学演習(5)（対面）
第15回	論理学演習(6)（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20240581003043	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（経済） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原 由紀恵 / Hara Yukie		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	原 由紀恵 / Hara Yukie		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	原 由紀恵 / Hara Yukie		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	経済学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	harayukie▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	経済学部 本館 509		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	セミナー後の時間、又はメールでアポイントメントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため、知的活動への動機づけを高め、レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・ 次回のクラス活動時間を有効に活用できるように、調査、質問、発表等の準備や課題に取り組む（2h） ・ 学んだ内容を復習する。振り返って良い点、改善点を確認し、良い点を継続して改善点を修正するように努める（2h）		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	特になし。必要に応じて指示します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	セミナーは原則として対面にて実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	大学生生活（とその先）をより多く円滑に進められるように、主体的な学びと必要スキルをともに学んでいきます。ポイントを絞ってサポートします。一緒に頑張りましょう！ 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面）
第2回	研究テーマに関する討議・決定 図書館ガイダンス（対面）
第3回	研究テーマに関する討議・決定 図書館ガイダンス（対面）
第4回	研究テーマに関する討議・決定 図書館ガイダンス（対面）
第5回	レポートの書き方 アウトラインの作り方 グループごとの活動 グループごとの研究の中間報告・改善（対面）
第6回	レポートの書き方 アウトラインの作り方 グループごとの活動 グループごとの研究の中間報告・改善（対面）
第7回	レポートの書き方 アウトラインの作り方 グループごとの活動 グループごとの研究の中間報告・改善（対面）
第8回	レポートの書き方 アウトラインの作り方 グループごとの活動 グループごとの研究の中間報告・改善（対面）
第9回	レポートの書き方 アウトラインの作り方 グループごとの活動 グループごとの研究の中間報告・改善（対面）
第10回	プレゼンテーションの行い方 グループごとの活動 グループごとの研究の報告・改善（対面）
第11回	プレゼンテーションの行い方 グループごとの活動 グループごとの研究の報告・改善（対面）
第12回	プレゼンテーションの行い方 グループごとの活動 グループごとの研究の報告・改善（対面）
第13回	プレゼンテーションの行い方 グループごとの活動 グループごとの研究の報告・改善（対面）

第14回	プレゼンテーションの行い方 グループごとの活動 グループごとの研究の報告・改善（対面）
第15回	グループごとの研究の最終報告（対面）